

平成 18 年 12 月 19 日

社団法人 日本建築学会
九州支部長 竹下 輝和 様

福岡地所株式会社
代表取締役 八木 聖二



旧西日本シティ銀行大分支店の保存について(回答)

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標題の建物については、磯崎新氏の初期の代表的作品のひとつでもあり、当社は購入を決める以前から保存の可能性を検討してまいりました。具体的には、現状保存や改修して一部保存等の検討です。ご承知の通りこの建物は、昭和 42 年竣工であり現行の耐震設計法に対し耐震性能が低く、かつ、基礎構造が杭基礎と直基礎という異種のものであることや柱フープ筋の間隔が広いことなど現行の構造規定を満足しておらず、いずれのケースも構造上の大規模な投資をせざるをえません。これは、我々民間企業にとっては大きな負担であり、多大な事業リスクを負うことから建替え事業の検討をしてきました。

そのような状況の中、去る 12 月 6 日付けで貴会より保存に関する要望書を受領しました。当社としましても、要望に沿うべくその内容を真摯に受け止め以前行った検討結果を再度見直しましたが、多大な投資を負うことには変わりなく、建物自体の保存が困難であると判断し、建替えをすることに致しました。あわせて、貴会の要望書にも記載されておりました記録保存につきましては、竣工図書や現況写真等を保存する予定であります。その後の管理方法に関しては、検討中です。

以上、この建物自体の保存ではなく記録保存を選択したことにつきご理解いただきませうようお願いいたします。

なお、新しい建物については、大分市の街づくりに寄与すべく大分市民はもとより大分市を訪れた人達にも広く利用していただけるものにしていきたいと考えておりますので、今後とも弊社の街づくりにご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具